京城新聞

對清同情の反響

石堂生

清國今回の凶變につき當路者の最も憂慮したるは革命黨なり西太后崩御の時は即ち革命黨が事を起すの秋なりとは當路者の豫期したる處にして革命黨員自からも亦竊く確信し居たりしなり從つて清國官憲の警戒嚴重にして兩宮崩御以來殆んど其全力を之が防壓に注ぎ居れりといふも差支なく近來滿洲方面より革命黨の天津北京に向ふもの多數なりとの風說傳はるや奉天巡警局總辯吳鐵嶺は百名の騎兵巡兵を山海關、營口、錦州等地に分派して偵察を嚴密にし又徐東三省總督は各地に兵を派し各地方官に訓電して警戒に一則の油斷なき有樣なり殊に革命黨輩の多數が日本に潛匿し竊かに計畫しつゝあるの一事は最も清國當局者をして焦慮せしめ日本の清國革命黨に對する態度如何は彼等の最も注意せる處のものゝ如し然るに日本は清國の凶變に多大の同情を寄せ特例の宮中喪は清國をして深く我國の好誼に感ぜしめたるのみならず革命黨員の行動についても嚴重なる警戒を加へ豫防鎭壓に盡力し即ち我政府は各地方官に訓令して嚴に清國革命黨の出入を警査せしめ且又關東總督、關東都督に命じて革命黨の陰謀、軍器の密輸入等に十分の注意を拂はしめ滿洲各地駐在の領事及び警察官も亦黨類の警戒に力を致したれば徐總督の如き深く日本の好意と同情を感謝しつゝあり

之を要するに今回の凶變に對する日本の態度は清國をして大に信賴の念を深からしめたるが如く徐總督は嘗て臨江縣在留の韓人を排斥し更に進んで間島方面における韓人等をも驅逐せんとの下心を抱き竊に畫策する處あり夫の撫順炭坑の如きも依然之を取戻さんと企て既に附近の打蓋子、龍鳳坎等において清人の採堀を許可したる程にて滿州外交界は爲に無意味の紛紜を重ねんとしつゝある折柄清國凶變に對する日本の態度を見て從來の猜疑心を薄らげたるが如く新採炭の出願問題臨江縣韓人退去問題の如き徐總督は直に日本領事の提案に贊するとなり尤も此二事を以て俄に清國の衷心を忖度する能はざるも兎に角從前に比し遥に日本に對し好意の態度を示すに至りしは明白なる事實なり若し徐總督にして永く此態度を失ふなくんば日清兩國の爲幸なるべし

殊に滿洲における日清懸案は關東州製鹽問題、撫順及烟臺炭坑問題、滿鐵各附屬地境界問題、本溪湖炭坑に關する細則の協定等あり境界問題の如き隨分小面倒なる問題にして滿鐵附屬地の地圖は既に東清鐵道會社より滿鐵に交附し來りたる筈なるも露國は幾度か清人の私有地を買收し而して清國官憲之を闕知せざるあり中には賣却の事實を否定し若くは轉賣せんとするものありて附屬地の原圖のみにては一々決定し難し而も是等の諸問題亦日清兩國官憲相互の好意により遠からず圓滿に解決するに至るべき乎（大阪每日新聞所載）



（九十）　河合柳葉

「大山さん、まあ小しお話しなさいな、もう一度菊野さんを連れて菊を拜見に參りませうかね。」

と、君平は意味ありさうに莞爾笑つて言ふ。大山は甚く恐縮した体で、

「どうも然う仰せられますると、誠にどうも恐縮致します。」

「お禮は澤山頂けるでせうね。」

「へえつ。」

と、故意と怪訝な顏をする。

「可厭ですよ、私に那樣とぼけた顏をなすつて……。」

何も彼も知つて居ると云はぬばかりの辭付ゆゑ、いつそ隱し立てするも利にならぬと思つたか。

「では、あの日の事を御存じで……。」

「知らなくつてどうするものですか。」

「それでは、厠へ行と有仰たのは……。」

「それと察して外しましたんですよ。」

「けれど、どうして其をお察しなされました。」

「お問ひなさるだけ、野暮ぢやありませんか、何か言ひたい事か、爲たい事があればこそ菊野さんを連れてお願みなすつたんでせう、それと察したればこそ、無理に御前樣にお願ひ申して菊野さんをお連れ申しましたんですもの、お察しもなさないで奈何致します。」

「いや、さう然う仰せられますると、一言も出す辭はございません、誠に恐縮致します。」

「しかし貴方も見掛に依らない、思ひ切つた事をなさいますのね。」

大山は豈夫君子が菊野に對する秘密の思ひ態までは知らぬ事と思ふて、

「思ひ切つた事と仰しやいますのは。」

「宜い加減になさいましな、何程お秘しなさいましても何から何まで皆んな存じて居りますよ、お言ひ惡くければ私から申上げて見ませうか。」

と、微笑むで云ふ、さては秘密の事まで見られたかと、面目なげな顏をして、

「致しまするど秘密な事まで皆な殘らず。」

「さうですとも、秘密の秘密まで皆んな殘らず存じて居りますよ。」

この辭には、大山も最早君子の前に膝を屈して兜を脫がずには居られなかつた。

「あの秘密まで御存じの上は、もう何にも秘し立ては致しません、どうぞ此事だけは貴女樣の胸一つで秘密の洩れないやうにお願ひ申したうございます、その代り貴女樣のお身の上に萬一の事がございました節は身に引受けて御恩報じは必然致します。」

と、一向頼むのである。

「大山さん、必ず御心配なさいますな、貴方と私とは京都以來お知己の間でございます、殊に私がお屋敷に參るにつけても、いろいろ御心配に預りまして、私は貴方を他人のやうには思ひません、眞個自分のためには親類以上の同情者だと存じて居りますから、貴方が甚麼秘密な事をなさらうと、お助け申せばとて、お邪魔を爲たり、秘密を洩らすやうな那樣君子ぢやございませんゆゑ、どうぞ御安心なさいまし、これから後も菊野さんと御密會でもなさる節は、甚麼首尾でも計らひますから御遠慮なく仰やつて下さいまし。」

大山が菊野に對する戀に非常な力を添へて、結の神の化身かとまで感謝した。

「この御恩は死でも忘却は致しません。」





流行の新柄ゑり地帯あげ肩掛新調其他種々
京城明治町一丁目
ゐ星德商店

●韓京覺帳（第十二）
水浪生

●李完用を訪問したる翌日余は宋秉畯を余の寓居に招き質すに李の人物の如何なるを以てす、宋の答に曰く李と自分とは元來政治上の主義を異にし性格また同じからざるを以て多年の間互に仇敵の如く相反目し居れり、而れども彼れの人物が李根澤や朴齊純や其他の有象無象に立優り居ることは自分の常に認め居るところなり。

●且つ曰く彼は往年露國公使館に君主播遷の離藝を演じたる程の男なれば此後とても事宜によりて如何なる離藝をも演ずることも辭せざるべし彼今や統監政府に學部大臣として伴食し居れども之決して彼れの本意に非ず、若し機會だにあらば彼は同僚を出し拔き政權を自家の手に收めんと計るや必定なり。

●余宋に向つて曰く余の李に就て觀察するところ亦君に同じ因つて思ふに君今如何にも一進會を提げ政界に馳騁せんとするも韓國は未だ政黨政治の行はるゝ時代にあらず、從つて伊藤統監の如きもよし一進會を利用したればとて決して同會に政權を委する等の事は爲さゞるべし、茲に於て君は之より一進會を基礎として李と相結び内外相應じて朴齊純を倒さんか政權の幾部分は必ず君と一進會とに落來るなるべし。

●宋秉畯曰く君にして李と我との提携を以て必要なりと認むるに於ては我は何時にてもソレを實行することを避けざるべし只茲に自分に於て氣掛りなるは我曾て李に對して一の罪惡を犯したることあり李にして之を知り居らんか彼と我との提携は到底成立さるべし。

●余問ふ李に對する罪惡とは何、宋の曰く我は明治三十八年十一月十七日の夜西小門外なる李邸へ壯者三十名を送り邸内李の妻子の住居する家屋へ放火せしめたり。

●余問ふ放火の目的は何、宋曰く〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇の爲なり、其夜李完用は他の大臣等と共に宮中にあり日韓協約調印の件に付君主の下問を受け他が沈默に時を移し或は曖昧なる意見を交換し居る間に彼は君主に向つて明白に協約調印の可なるを進言したるなり。

●余は宋より以上の談話を聞き彼に向つて曰く君の放火の目的にして果して君の言の如くんば敢て咎むべきにあらず、但し君が余に普通朝鮮人の爲すが如く夢の如き出鱈目を語るものなるや否やは知らず、余思ふに君にして眞に李と提携して大目的に向はんとするに於ては李は假令君の放火の事を知るも決して君を咎むることを爲さゞるべし宋余の言を聽き大に安心したるものゝ如くなりき。

●宋余の寓を辭するに臨んで懷より一通の書狀を出し余に示して曰く此は前參謀長大谷少將より我に送られたるものなり、君此の狀を何とか見らるゝやと

前略拙小生先立て大磯滄浪閣へ伺候節序以て貴兄及び一進會に關し老侯へ委細御話置候に付左樣御承知相成度候在任の村田少將へも過日[illegible]の文通致置候に付同少將と時々御會談相成べく候先は右まで得貴意候 匆々

大谷喜久藏

宋秉畯殿

雜報

●臨時閣議

明年度豫算に關し本日臨時閣議を開き決定する筈なり因みに各大臣中には豫算に關し參與官會議を以て決定せる旨各新聞紙に傳へられしも事實に於て未だ閣議に於て同問題が議せられざるため憤慨せるものありといふ

●統監の馬關行

伊藤統監は避寒のため本月廿八日頃より來年一月八日頃迄下の關に避寒する事に略ぼ決定せり

●國有未墾地處分成績

國有未墾地利用法施行以來本年四月より十二月十五日まで農商工部に於て取扱ひたる總數及び其の成績を示せば左の如し

隆熙二年一月より十二月十五日に至る分

貸付を出願したる總高 六萬九百三十一町五反四畝八歩 日人 三三二 韓人 四三二

認證を申請したる總高 一町八畝二十八歩 日人 韓人 一

因みに記す認證は國有未墾地利用法施行以前に於て官廳の許可を受けたる者が同法の定規に基きて更に官廳の認證を經たるもの

前項出願及び認證に對して實地調査を了したるもの

調査個所數 四百三十三ヶ所

調査件數 五百七件

同處分を了したるもの

貸付許可したる者 三千九百三十八町四反九畝十七歩 日人 韓人 五〇

認證許可したる者 二千五百七十八町一反三畝十一歩 日人 韓人 一三

無資格として返却したるもの 一萬四千六百二町五反四畝 一四

所管違にて他部へ引繼ぎたるもの 二千三百七十六町八反 二七六

不許可のもの 一千五百三十町五畝二歩 一五

●元老の統監招待

韓國元老李容元、[illegible]植、金鶴鎭の三氏は來る二十七日午後一時より校洞閔泳徽氏邸に於て伊藤統監を主賓として午餐會を開く等にて主賓伊藤統監、陪賓曾禰副統監、村田、外波兩武官、古谷、國分、佐竹の三秘書官に夫々招待狀を發したりと

●豫算會議の延期

既報の如く昨日の閣議に於て議定すべかりし豫算は度支部の査定に對し昨日各部より度支部に參集して協議を爲したるが昨日の閣議に提出する迄に至らず不日臨時閣議を開きて議定すべき筈なりといふ

●浦鹽軍港費

浦鹽軍港費の明年度豫算經常費百四十萬留を海軍省に提出せりと

●大臣會議

昨日午後一時より統監邸に於て大臣會議を開きたり

●各參與官の參列

各參與官は昨日午前統監府に參集午後一時より別項記載の大臣會議に列席したり

●軍司令官の統監訪問

長谷川司令官は昨日午前十時伊藤統監を官邸に訪問せり

●ヘデン博士の退京

ヘデン博士は既報の如く昨朝八時四十分南大門發京義列車にて出發せり見送人は木内、兒玉、古谷、村田、外波、市原、熊谷等の諸氏にて井上、巨智部、頭元の三氏は開城まで見送りたり

●水產協議會（六日目）

廿一日は免許漁業の權利保護の爲め保護區域を設け第三者の漁業行爲を制限する事と爲し其區域は主として免許を受けたる建設又は敷設漁網の前面若くは魚道に若干距離を置き其區域内に於て魚類の進路を遮斷又は之を妨害する他の漁具漁法を使用することを禁止するの必要ありとの決議を爲せり次で諮問事項第五、日韓漁業者共同の利益を圖り其親和を保つ方法に就き議事を開き之れが方法として調査委員は七項の意見を具して提出せられ之に對し總會の意見を採り概ね委員意見通りに決定せり就中兩國漁業者共同の利益を圖り其親和を保つ方法として日韓漁業者を打混したる公益團体即ち水產組合の如きものを組織し官府と兩國當業者間の連鎖たらしむるのみならず此團体が兩國漁民の共同的利益及各自漁業の便利を圖り且つ一般漁業者の保護取締に任ぜしむるは漁業法發布の今日にありては最も緊急を要する事なりとして各會員は特に其實施を熱望せり尤も日本漁業者にありては日本政府の補助を受て既に朝鮮海水產組合を設立し共機關に供しあるも尚其一歩を進めて兩國共同の組合を組織するを必要なりとせるものなり本議を了へ午後五時散會せり 尚は二十二日の協議事項は諮問事項第一各道水產調査の結果に依り水產業の開發擴張に就き官民間に於て現在將來施設を要するものと認むる事項及び其施行方法に就き議事を開き各委員の意見を徵する筈なり

●高麗紙の模範製造

晉州地方を主として產出する所謂高麗紙は淸國の鑑張用紙としての需要多く毎年の輸出額稅關の調査に依れば約十萬圓に過ぎざるも實際には少くとも五十万圓以上の輸出あり從來韓國の主要產物として頗る有望なるを以て農商工部は其の製造輸出を保護獎勵する方針にて先づ明年度に於て工業傳習所に高麗紙の模範製造所を設置する計畫なりと云ふ

●昨今の間島と淸津

間島は近時經濟上の發展頗る見るべきものあり元來同地へ出入する貨物は西は吉林より東は渾春より其の中央市場と見るべきは局子街にして殊に渾春よりするものは全部浦鹽を經由し其の勢ひ頗る旺盛を極め他よりする貨物は始終壓倒され勝ちの有樣なりしが昨年六道溝に統監府派出所を設け鏡城間島淸津間の貿易を獎勵したる結果兩地の關係は愈密接となり昨今淸津よりする貨物は日に多きを加へつゝあるが浦鹽自由港閉鎖問題の決定を見たる曉は渾春よりする貨物に大打擊を受くると同時に淸津間島に對する地位は益々重要のものとなるべしと云ふ

●明太漁業と相場

本年の明太漁業は未だ初期にして充分の統計を得ざれど昨年の今期に比較すれば一般に不漁の爲め相場騰貴し例年の今期に比すれば韓人使用の壺一個、に付二十七八錢方の高價を呼ぶに至り例年壺一個、三十七八錢の相場は本年は七十錢位ゐの相場なりと云ふ

●板幕洞の金鑛

平北寧邊州郡廣坪面板幕洞金鑛は今回平壤港町小島德太郎氏に採掘許可されたるが右は新義州を距る約十四里の處にして面積四十一萬三千坪とし昨年十一月中の出願に係り其の以前韓人に於て採掘せし事あり而して同鑛山は同氏出願の際殆んど同時に福岡縣人石村寅吉及び高橋寅次郎其他二三氏より採掘出願ありたるも終に小島氏に許可されたり尚ほ其の小部分を石村氏に許可されたり同鑛山の金質は最も良好にして其の運搬も鴨綠江を距る僅かに一里餘にして舟揖の便あれば至極好都合なるべしとの事なり

●韓南の大集散地

群山附近の川筋には米穀の集散地多けれども別けて泰厚郡の禾湖（韓名スッグチ）は有名なる米穀集散地にして戶數僅か百戶餘に過ぎざれども人家を距る三丁の近き所へ三百石積の帆船自由に投錨すべく金溝、泰仁古阜、扶安金提等各郡の輸出米は一旦悉く此地に集りうれより群山港に積み出すものにして其日々に吞吐する米穀は目下平均三百石より四百石の間を上下し市況は頗る振ひ居れり米價は五斗入叺中白二圓九十錢上白三圓六十錢群山までの回漕賃は一叺に付三十錢にして昨今群山にての取引相場に對照すれば一叺の利益は優に二圓内外に上るといふ

●穀物檢査と韓商

仁川商業會議所の依賴を受け同地穀物協會にて勵行せる穀物檢査に就き仁川韓人米商は其の檢査を受けずして賣買をなすものあり依て協會にて之等韓商に向つて其の不可なるを詰りしも彼等は之に應ぜざるを以て仁川商業會議所より仁川理事廳に建議し理事廳より府尹に傳達して一般韓人に訓諭すべく目下同會議所にて建議書草案中なるが本日頃理事廳に提出すべしと云ふ

●邦人官吏の任用

地方各道及び各部に日本人官吏を任用するの件は明年度豫算が消極主義を執りたる結果多數には上らざるも各道及び主要なる郡には此れが任命をなす事となる筈なりと云ふ

●水產有志懇親會

二十二日の水產技術官の會議を機とし農商工部、度支部、水產組合其他民間に於ける水產業に關係ある官民約五十名は相互の懇親を溫め兼て官民間の意思疏通を圖るが爲め一昨日午後五時より花月樓に懇親會を開き官民出席者中數番の演說を爲せしが要は漁業の實際談及漁業法實施に對する問答等にて互に其の胸襟を開き和氣藹々の裡に應答獻酬を爲し頗る盛會を極め午後九時頃散會せり、京城に於て水產關係者が斯の如く多數集會し單に飲食を目的とせず水產經營上の議論を爲し又官民間の意思の疏通を圖るが如き會合は蓋し空前の事にして事業上に直接間接の利益ありしは頗る喜ぶべき事なりとす

●大邱民團議員豫選會

大邱民團議員の選擧は二十一日同民團役所に於て擧行せし筈なるがその顏振れは大略左の十二名なるべし

松村泰助、堺萬次郎、小倉武之助、三輪彌吉、渡邊比、加藤一郎、靑木重信、佐藤周藏、村上知義、安松熊吉、增田虎太齋藤芳藏

●光州日本人會

光州日本人會に於ては火災警防及び非常警戒の夜警番を設くるの件及び會則中會費の負擔及び賦課標準に關し會則改正の議あり本月十二日臨時總會を開きしが集會者六十八名あり會長佐久間時三郎氏事故のため幹事管彌三郎氏會於代理として開會の辭を述べ夜警番設置の件に付總會に諮りしに一般に其の必要を認め之れが設置に關しては異論なかりしも其の費用負擔に付種々の議論あり結局夜警番を設くる事に決し其の方法及び費用負擔或は韓國民會に交涉する等の事は更らに次回の總會に於て決議することゝし會則改正の件は出席者總員の數に滿たざるを以て更らに次回の總會に於て決議することゝし散會せりと云ふ

●大同江の結氷

平壤測候所よりの通報に依れば大同江は去る十八日結氷[illegible]日昨年よりは十七日何れも晚しと今最近數年間の結氷日を擧ぐれば三十三年（十二月九日）卅四年（同十八日）卅五年（同廿七日）卅六年（同十八日）卅七年（同十六日）卅八年（同十三日）卅九年（同十二日）四十年（同一日）四十一年（同十八日）

●會寧方面の積雪

會寧城津方面の各村落は積雪二尺に及び目下殆ど交通杜絕の姿なりと同地方面より歸來せる某氏は語れり

●愛國婦人會の招宴

愛國婦人會淸國本部にては來る廿五日午後五時三十分より花月樓に於て宴會を催す筈にて昨日其々案內狀を發せり

●クリスマス祝會

日本メソジスト京城敎會にては來る廿五日午後七時よりクリスマス祝會を催す筈にて昨日多數の案內狀を發せり

●馬山最近漁況

馬山灣口、鎭海灣統營方面の鱈網漁期は已に終りを告げ各漁船引き下げ當時漁期に於て盛況を極めたる漁業は目下頗る沈靜なり又三千浦方面には一隻の鯛網漁船の殘留漁業に從事せるのみ統營方面には上網、延繩潛水器船等目下出入せるも其總數は寂寥なるが如し從つて該市場に漁獲物の水揚を見る甚だ小量の觀あり亦蛇梁島に於て秋期漁場の根據地を構へたる延繩漁船は已に退散し目下は唯長崎縣潛水器漁船三隻同近海に於て海鼠に從事せり三千浦近海子郊灣方面にも同縣より南海島に出漁中なる潛水器船の來場同漁業に從事せるあり何れも其漁獲高を聞くに一日一隻捕獲は四斗樽二杯乃至五杯なりと云へり槪して目下は三千浦統營鎭海灣方面本邦人漁業は閑散の時期たり然れ共三千浦、統營鎭海灣方面韓人冬期主要漁業たる鱈漁業或は同延網漁は本年は頗る豐漁の見込あり何れも漁獲の有望を豫想せり目下一尾の代價四五十文なりと云ふ

●各官廳の御用仕舞

各官廳は本月廿六日迄執務し廿七日は日曜日に付廿八日出勤御用仕舞をなすことに決せり

●暴徒討伐彙報

仁川警察署員は十二月十四日江華島の賊魁李能坤を逮捕し其自白に依り銃十五彈藥五百六十六發雜品多數を押收す△黃海道市邊里憲兵分遣所員は十二月十六日同所に襲來せる約百の賊と交戰[illegible]時間の後之を擊退す△京畿道退溪院憲兵分遣所員は十二月二十日同所に襲來せる約百四十の賊と交戰之を擊退す

●菊地謙讓氏の辭職

京城民團議員菊地謙讓氏は都合に依り民團議員を辭職せり

●水原の活字新聞

去る十五日付を以て廢刊の旨を屆け出でたる水原新報の編輯人吳東正善氏は同新報の保證金を基礎とし更に有志の出金を促し一の活字新聞を發刊せん計劃にて目下其の運動中なりといふ

●警部の昇給

理事廳警部天野章四郎氏外廿七名は十二月廿日附を以て各其の月俸一級を昇されたり

●領事の去來

岡部安東縣領事は歸京の途次廿一日夜着京泉尾旅館に投宿二十二日夜内地へ向け出發せられたり

●宮館署長出發

宮館仁川警察署長は明日暴徒討伐視察の爲め江華島に向ふ筈なり

●平壤民長の下仁

大庭平壤民長は事務視察の爲め本日下仁直に仁川民團役所を訪問せり

●敍任辭令

京城地方裁判所檢事 伊藤德順
平壤地方裁判所判事 堀江幸市
京城地方裁判所判事 深澤新一郎
給四級俸
平壤地方裁判所判事 長尾戒三
陞五級俸
公州地方裁判所判事 伊東淳吉
給六級俸
公州監獄典獄 山田虎一郎
陞七級俸
晉州區裁判所檢事 渡邊勇次郎
陞七級俸
補公州區裁判所書記給八級俸 原口茂八

公人私人

▲木原万吉（佐賀縣廳技師） 二十一日仁川へ向け出發
▲田中磯（東京石川島造船所技師） 二十一日入城巴城館
▲佐久間貢次郎（鑛山技師） 二十一日入城原金旅館
▲岡部三郎（安東縣領事） 二十一日入城浦尾旅館
▲今村鞆（警視） 同上

▲小筆硯▼

六花繽紛として降りしきり滿目白皚々たる今朝の光景を見るにつけても思ひ出さるゝは其の昔赤穗の浪人四十七士が吉良の邸に打入り首尾よく主人の讐を取つた美蹟である而も時は是れ十二月十四日無量の感慨は湧然として胸に溢るゝ許りである此の四十七士の守り本尊といふは言ふ迄もなく武士道である廉恥を辨へ大義を重んじ他の爲めには自己を犧牲に供するの義氣があつてこそ主人の仇も打つ事が出來たのである筆硯子が今朝の雪に赤穗義士を思ひ出したのも實は此の武士道で同時に憮然として感慨に堪へざるは現今の風紀である殊に筆硯子の長嘆大息に堪へぬのは今の統監府の狀態である▲思ふに如今統監府の役人中此の武士道を重んじ世を憂へ時を慨するもの果して何人あらうか恐らく曉天の星はおろか一人もあるまい、もし一人にても其の人ありとすれば決して官紀の弛廢とか行政の紊亂とかの聲は聞ぬ筈である如何に足一度び母國を離れ玄海灘を越えたればとて武士道を忘れるといふことはない筈である、此の忘れてならぬ武士道は大和民族の精華で彼のキリストの精神と同樣自己を犧牲として國家同胞の爲めに計るを以て主眼として居るのである、望むらくは統監府の役人連も何うか此の武士道に重きを置いて國家同胞の爲めを思ひ官紀の行政紊亂等の醜聲を揚らさぬやうひたいものである（二十一日稿）

京城居留民團公告第三十四號
京城居留民團會議員　菊地謙讓
右本月二十一日辭職セリ
明治四十一年十二月廿二日
京城居留民團民長　熊谷賴太郎



●僞刑事の化の皮（一）

▲一人は刑の執行猶豫中　▲一人は功七級の軍人

仁川敷島遊廓吾妻樓内五郎の色香に溺れて店の金品を窃取し重禁錮二月の刑に處せられたるも判官の謨を以て二ヶ年間刑の執行猶豫をされたる元近江屋の店員後藤藤次（廿三）と云ふが亦もや官名詐稱の罪を犯したる其の顚末を詳報せんに藤次が刑の執行猶豫を受けて去る十日出獄するや元の主人近江屋には立ち歸ること出來ざるより如何はせんと案じけるが先づ宿を取るが目下の急務と新町二丁目鈴川下宿店に身を落ち付けたり然るに同下宿に今一人の男居りて藤次の顔を穴の開く程眺め居るに藤次も不審に思ひ能く見れば以前交際せし香川縣生れの丸井菊二郎（三十）なりければヤー久し振りだなあと話の端緒を開き終に藤次は五郎とありし昔の夢を語りたる末話は其れから其れと移りさて自分が監獄に居たる時花町二丁目洗濯業川瀬殿次と云ふが詐僞取財なる罪名の下に未決監に入れられ今尚豫審を受け居るが此男の云ふには私の宅は前記の所なるが留守宅のことが氣になつてならぬから貴公出獄せば我女房さくに商賣熱心に勉强して自分の事は高橋辯護士に依頼せよと傳へ與れとのことに私も直ぐ引受け置きたるが出獄の際監守より傳言などしてはならぬと嚴格なる説諭を受けたればうれもならず如何したものかと丸井に相談したる所それは最と安きこと俺れも共に行かんと出獄せる十日の夜川瀬殿次の女房れきくを訪ひたり然るに藤次及び菊二郎の兩人は身に一錢の金もなく今日からの食料にも差閊ゆると云ふ境界なれば茲に又もや惡心を起し菊次郎は刑事巡査となり藤次を手引したるが如く裝ひサア是からた菊に金の無心を吹き込む談はコリヤ明日の紙上に讓らん

●一昨夜の長唄會

長唄嗜好會は既報の如く一昨夜巴城館に於て開催したり當日は春畝公、西湖子其他官民紳士、淑女あらゆる階級を通じて三百名の來會者あり、會場は幔幕を張り詰め一切本式に飾り立て先づ峰岸本社長開會の辭を述べ其れより順次番組通り何れも得意の技倆を振ひ大喝采を博し、余興としては三遊亭千朝の落語ありて頗る盛會なりし、同會は此際大に會員、賛助員を勸誘する筈にて希望者は同會幹事の許に申込まるべしと賛助員の會費は一ヶ月三十錢なり、尚は當日は西湖子爵のものせられたる新作「御代の榮」を會員中にて即席に節附け（老松の節を付す）同しく會員にて唄ひたるに大好評を博せり今左に其全文を掲げん

御代の榮

實に霞網につつむ空、々々、啼く音に聞を囀れ鳥、ツツと襖戸を驚鶯の、睦わひてや襖あけ、未だ梅か枝にかりの情を、香ひ床しき花枕、まくらにうつる初日影、眠れる夢のはやさめて、ほう法華經は新玉の、年の始に白銀つもり、降めきて、松の葉色もまさりまさりて庭の影、餘所のものかと覺ねけり、

先つ南山のかたを見てあれは、綠も深き峯々に、いろどる雪のたなびきて、風にひらり、ひらひらめきわたるたなには、巍々たる北山そびえたり、その麓には昔を今の宮居あり、山嶽原野こども眺めは、同じ韓國雪の春、あけて目出度豐かなる、此處に驗は顯はれて、（二上リ）アラ嬉しアラ面白のこの景色かな、花かと見れば雪降りて、冬かとすればちらちらと見なれし松に降り積り、綠をかくす綿帽子、たとひ老木も、若木をかたる、はつかしさ、比翼連理の白かさね、嬉しき世々に相生の幾世の思ひ、かぎりしられず、いつまでもかはらしものと、色ふかし、めて御目出度あけまして、神樂太鼓の音たかく舞くる獅子の勇ましや、（三下リ）松の飾りも門なみに、そゆる青竹ふし高くたかくひらめく、大和々々々の日の御旗、それに舞ふのは韓國々旗、かざりたかてぞ候ひし、町のかどかど小娘や、エエいいとしかさの姥たちの、羽子板うたの賑かにまことにうれし大御代に、異郷にありてもさながらに、日の本内裏にありあふことどく、祝ふ人々屠蘇の酒、君か齡を千代かけて、祝ふ御代こそ久しけれ

●昨日の雪

昨朝未明より靜かに降り積り窓外一面銀世界と化したるが終日少しつゝ降り續き午後二時頃は稍々大きなるがフワリ〳〵と落ち來り頗る美觀を呈し夕方に至り一時降止みしも天候は依然回復せず降積ること約三寸にして近來の大雪なりき

●亂暴なる車夫

南山町二丁目四十九番地行商人西田清松が昨朝零時半しるこ賣りに行つて歸り[illegible]理事廳前まで來ると其處に憩い居たる三人の車夫体のもの突然清松に打つて掛かつたのでしるこの擔箱は破損し茶碗は碎かれ五十錢餘の損害を蒙りたるが右の車夫等は別府組の男なりとの清松の申立により南部署にては目下取調中

●ベランメーさナンダス

昨朝九時頃雪は京城全部を包んで降りしきる眞最中永樂町にて部屋と染抜いた半纏の上衣に鉢卷き男「ヘー今日は……」と竹園町一丁目山遊樓前で頭をペコリと下げ左へ廻らうとすると向から來た人の傘と鉢合せバラ〳〵と積りし傘の亂雪、一層の美觀を呈せしはよかりしが半纏男は江戸子「なんだベランメー」、眼が明てたら氣を付けろ」と怒鳴り、此方は角帶に前垂れ姿、色クッキリと白く何處か呉服屋の番頭らしく此男大阪者と見へ「ヘー御めんやす」と腰をかゞめて振向けば「用心しねーな」と江戸子が又一聲の酒元氣……を一寸斜に「れー寒い」と行過ぎしはちよいと小粹な光景、其れに引返へ此方の大阪男は「マアゑらい權幕やなあ……」と首を縮めて小急せしは面白きコントラストなりき

●贓物を棄て逃走す

近時盜難の被害益々多きより各警察署とも晝夜の別ちなく刑事巡査又は密行巡査をして嚴重なる警戒に從事せしめつゝあるが去る廿日午前三時頃龍山警察分署の孔偉坐なる刑事が同大院君墓附近なる鐵道線路筋を密行中大風呂敷を肩に擔ぎたる二人のヨボが現はれたるより刑事は怪しと近づき寄れば件のヨボは右の大風呂敷を投棄したるまゝ行衛を晦ましたりと云ふが右大風呂敷には百點餘に及ぶ韓人用の物品ありたりと云ふ

●小供の風引の手當

昨今多い病氣は風邪ですが殊に大人よりも子供に澤山あります全体子供は皮膚が軟弱で寒さにも暑さにも感じ易く而して是に耐へる力が弱から少し寒さが過ぎても直に風を引きたがるので普通の豫防法は成るべく室外に出さぬことと室内の温度を六十度内外に保つてることなうです乳吞兒が風を引くと先づ鼻が塞るので乳を吞むのに苦しがります大抵子供は乳を吞む際に鼻で呼吸をしますが風のために鼻が塞ると思ふやうに呼吸が出來ませぬから一口吸つては焦れ二口吸つては泣出します斯樣な場合には素人療法としてオレーフ油などを鼻の穴に塗つてやると一時を凌げますが打捨て置くと小供は充分に乳を吞めないから營養不足なぞ云ふことになつて瘦せたり病氣を引起します又之れが重くなると鼻加答兒を起し更に一層重ると氣管加答兒から氣管支肺炎などを發して取返しのつかぬ病氣になることがありますから成るべく早くその道の醫師に見て貰つて手當をするのが肝腎です

●大蟲客は豆腐屋の賣子

本町九丁目某日本人豆腐屋の賣子金敬順は一昨日西小門内李某なる酒店にて獨酌にて媚ふり居りたるが段々と醉のまはるに連れ酒飲み相手が欲しくなり友達なる禹景先及び尹海元の二人を連れ來り前説李某と四人して南部會館坊色酒屋李景三方へ到り蝎甫相手に大散財を盡し勘定高數十圓に及びしが所持せし十圓紙幣を投付け其儘行衛不明となりたるより主人は靑くなり西部署へ屆出たりと

●ヨボ助の立小便

一昨日午後二時半南部竹洞通りにて立小便を遣つて居る馬方あるより銅峴分署の巡廻の巡査是を取調て見ると此者は廣州郡城内李明玉（三三）といふ者火の出る樣なれ目玉と共に放還

●一昨夜の新町

不景氣ながらも一昨夜の繰上總數は九十八名其費消高は五百二十八圓八十五錢にて一番繁昌せしは皆春樓の十五人なり

（獨舞臺）　なにがし

一昨夜巴城館で催された長唄嗜好會は本年最終の會なりしが來會者意外に多く幹事側の人達は非常に滿足をして居た、來年の初會は一月二十頃と極まつたそうだが、ロハの來會者ばかりでは難有味が少ない、ドウか三十錢を奮發して贊助員になつて貰ひたい者だと是れも幹事連の話だ▲昨日も言つた通り吾人は趣味ある此種の會の盛なるを喜ぶ來年の初會には餘興も隨分多いさうだから同好者は此際大に入會すべしだ▲昨日は京城には珍らしき大雪で其處〳〵に雪達摩杯が出來て居たのを見て、何んとなく故郷の空が戀しくなつた、僕の町では僕が作る達摩がいつも大きかつたのだ▲顧問時代の官吏で韓國官吏となり或は退職となりし者は何れも多額の慰勞金を頂戴したが獨り下級警察官にのみ此恩賞がないと云ふので不平を唱へて居る者が多數にある、而かも彼等は官職の低き爲め何れも胸中の不平として一言も口外せず泣寐入の姿だとは實に同情に堪へん

平民文庫



▲一昨晩本町座の芝居見物をしたが觀客の中に奥さんやら藝者やら見別のつかぬ△△樓の花の字が居たが花ちやんを知らぬものは誰でも奥さんと思つたであらう（見物の一人）▲長谷川町のかしくと云ふ飲屋の夫婦は三日越しには乾度喧嘩をやつて居るが師走のしやはちや馬鹿野郎奴（近所の嘆）▲本町八丁目下駄屋の娘さんは此間本町座の芝居見物に來て居た或る男と二人（近視眼）▲京城に柔道を敎へて居る家はありませんか（少年の太郎）▲朝鮮は仕事をして金を儲ける處だうれにベランメ料理屋又は新町通をするとは料見が違つてゐらあ（勞働者）▲右側通行勵行は警察官の嚴重なる取締に依つて大分行はれて居る金線帽を冠つた官吏連が平氣で左側を通つて居るには驚いた（通行生）▲花月の藝妓はナップンの癖に馬鹿に威張り腐る（た茶子）▲ヨボは平氣で女湯を覗いて居る何んとか取締はなきや（見兼男）▲桐原警視は死なれた令孃の意を諒とし學校へ寄附をした子を持てる僕等は氏の心中を察し同情に堪へん（同情生）▲仁川の翠湖、叶川兩兄健全なりや（ものの字）▲投書歡迎（係）

●警報

昨日午前十一時仁川測候所より通報左の如し

風强かるべし低氣壓は黃海西部に於て七百五十五ミリメートルを示し北東に進まんとす韓國全部の警戒を要す

●天氣豫報（自廿二日午後六時　至廿三日午後六時）

北又は東の風雪後晴

廿二日午前六時各地氣象概況　今朝低氣壓は朝鮮海峽に來り各地には東風吹き雨雪を降らし一般に天候險惡なり

本町一二三丁目

聯合大賣出

一年の勞苦を慰するは御正月なり、一年儉約に儉約して溜めたる金の尊き光を發するは、年末にウント買物をして、樂しき正月を迎ふるにあるものとすれば天下御異存の無き所と信ず

賣出期間　十二月十五日より同三十一日まで

御買上金五拾錢毎に景品券一枚進呈（但御賣又は商品の種類により此限にあらず）

抽籤期日　明治四十貳年壹月拾日

抽籤場所　於本町座

景品券有効期間　明治四十二年一月三十一日

景品種類

一等　金壹千圓（勸業債券額面）一本

二等　金貳百圓（三越呉服券）一本

三等　金五拾圓（各店商品券）一本

四等　金貳百圓（各店商品券五十錢ロ）四百本

五等　金貳百圓（同上二十錢ロ）壹千本

等外一本も空籤なし

此に本町一、二、三丁目の各店聯合して一年中の大奮發して大賣出しを企て市場寶山をなし萬づの裝飾花の如く、品物は平生より安價にした上に多額の景品を附し以て顧客各位に平素の御愛顧に酬ひ、且つ御正月の御便利を圖ると共に來年の運定め籤を呈せんとす

尚抽籤法の確實なる事を証せん爲め

民團長　熊谷賴太郎氏　商業會議所會頭　中村再造氏

民團議長　和田常市氏　同　理事　戸叶薫雄氏

及各新聞社員數名立合を乞ふ

京城本町一二三丁目聯合組合店

（姓名いろは順）

薬種商　本町二　井口薬店
食料雑貨　旭町二　一法師商店
金物商　本町二　橋口商店
石炭商　本町二　林田商店
塗料品商　本町二　林田商店
洋燈硝子商　本町三　林豊商店
印判商　本町三　八谷西海堂
書籍文房具商　本町二　日韓書房
官製煙草雑貨商　永樂町　二宮商店
米穀醤油酒商　本町二　本田米店
陶器官製煙草　本町二　陶榮商店
雑貨商　本町二　大石商店
雑貨綿布漆器　本町二　大伴支店
西洋雑貨洋酒食料　本町　龜屋商店
洋酒食料　本町　龜屋支店
雑貨商　本町　金田商店
雑貨商　本町　吉村商店
綿貨　本町一　高木商店
洋服商　本町一　田中洋行支店
時計商　本町三　田中時計店
履物商　本町二　田中商店
食料雑貨　南山町二丁目　玉井商店
西洋雑貨洋酒食料　本町二　辻屋本店
西洋雑貨洋酒食料　本町三　辻屋支店
和洋金物　本町三　辻清商店
雑貨商　本町二　中野商店
菓子商　本町二　中村菓子店
和洋雑貨　本町一　梅垣商店

すし商　本町二　梅園
洋服雑貨　本町二　村松支店
朝鮮土産　本町三　海市商會
雑貨商　本町二　野田商店
荒物商　本町二　野田支店
漬物商　本町三　日下部商店
食料品商　本町三　山本商店
和洋反物　本町一　丸一商店
書籍文房具商　本町二　町田文林堂
和洋雑貨　本町三　町田支店
時計商　本町二　福地時計店
洋服雑貨　本町一　小室支店
時計商　本町二　小林時計店
洋服雑貨　本町二　京阪商行
呉服商　本町二　惠阪呉服店
呉服商　本町三　圓城呉服店
履物商　本町二　江上商店
家具金物道具商　本町三　有田長商店
薬種化粧品　本町二　荒木薬店
洋酒食料葉巻　本町一　青木堂
米穀和洋酒　本町二　佐藤牧商店
金物商　本町二　佐野彦商店
キリンビール洋酒食料　本町三　明治屋支店
履物商　本町一　三浦商店
和洋雑貨　本町二　四ケ所商店
和洋雑貨文房具　本町三　篠崎商店
和洋雑貨測量器械　本町三　平田商店
玩具商　本町二　日の出支店
雑貨商　本町三　鈴木支店